# ナック、さらなる成長へ新社屋完工

## 商圏・伊賀のトップ企業へ

### 11月19日、新たな門出祝う

ナック（三重県伊賀市、中村賢史社長）の新社屋がまもなく完成する。11月19日には関係者を招いた披露の場が設けられ、新しい門出を祝う予定だ。中村信通会長が1972（昭和47）年に中村溶材機械工具として創業してから44年。事業や経営環境の変化に合わせ、いま新たな歴史を刻もうとしている。新社屋建設までの経緯とナックの将来像について、中村会長と中村社長に聞いた。

二人三脚で商圏・伊賀のトップ企業としての存在感を高める中村信通会長㊨と中村賢史社長

## タイミング、いまが良かった

――新社屋建設までの道程を教えてください。

中村信通会長「5年ほど前から現在の社屋（旧社屋）前の道路の通行量が増え、荷物の積み降ろしがしにくくなっていた。倉庫前の屋根もないので、雨の日の積み降ろしで溶接棒が濡れても困るし、トラックの往来が激しく、事故があってもいけない。いずれ移りたいと思っており、2012年にまず土地を確保してガス容器の貯蔵庫を先行して作り、いずれは新社屋を建てる計画だった。

私は現在68歳で、あと2年で70歳になる。70歳までに建てたいという思いがあったし、決め手になったのは今年が私の“星回り”が良いことだ。神社で占ってもらったところ、今年の4月以降なら運気が良いと出た。そしてマイナス金利の時勢でお金が借りやすいこともある。全てのタイミングが重なったので、思い切って建てることにした」

中村賢史社長「10年前に私がナックに来た時から新社屋の話があり、あとはタイミングの問題だった。旧社屋は従業員が増えて手狭になっていたし、1人1台パソコンが必要な時代だが、机の数が足りていない。また、トイレの問題もある。職場環境を整備する意味でも必要なことだった」

会長「旧社屋は創業の時からずっと使っており、必要に応じて建て増ししていまに至っている。会社を始めた時は5、6人だった従業員も、いまは名張営業所の3人とパートを含めて30人。手狭になるはずだ。ただ旧社屋は当面は倉庫として活用し、以降は状況に合わせて他社に貸すことがあるかもしれない」

――創業当時の話を聞かせてください。

会長「私の父は地域一帯で農業をしており、私に後を継いでほしいという思いも持っていた。だが父の意向に反して、私は地元の鉄工所に勤めた。4年ほど勤めたのち、叔父（母の弟）が名古屋で溶材商社（南出商店）をしていたので、見習いに行きたいと言って行かせてもらった。そこで一般高圧ガスの商売を学び、高圧ガス販売主任者の一種と二種の免許を取得して、1972年11月1日に取り扱い商品を全部社名に入れた『中村溶材機械工具』を創業した。これが始まりになる。

親の反対を押し切って会社を立ち上げたものだから、創業時に父からの資金援助は全くなかった。ただ父に感謝しているのは、土地を提供してくれたこと。旧社屋の土地は父のものだから。亡くなる前の5年ほどは、ナックの仕事も手伝ってくれたし、何より創業当時、私と妻が毎日夜の12時まで働いている間、娘二人の面倒を全部見てくれた。これはいわば順送りで、いまは私が孫の習い事の送迎などで忙しくしている」

――創業後は順調でしたか。

会長「72年と言えば、オイルショックの時で非常に厳しかった。顧客の倒産も多く『信ちゃん、また引っかかったわ』とよく言われていた。創業した時に貯金が50万円あったが、35万円でトラックを買ったらほとんど残っていない。そんな状況だから、創業してからの3～4年は、仕入れ先にお金が払えなかった。たまらず主要仕入れ先の責任者が私の家に来て、農協でお金を借りて当社に返してほしいと父に言っていたくらいだから」

――社長がナックに入社した経緯を教えてください。

社長「大手機械工具商社・トラスコ中山の社員としてナックに通っており、ナックで働いていた会長の長女と知り合ったのがきっかけになる。その後、結婚して社業を継ぐことになるわけだが、結婚する時は、将来は会社を継ぐという話だったので、家族に相談した。すると実父が『もし商売をするなら名前を借りてでも利用できるものは利用した方がいい』と言ったこともあって、ナックでお世話になることを決めた。ナックが一般高圧ガスを扱っていることも大きかった。溶材商社だったので、お世話になるのを決めたと言ってもいいくらい。それまでの経験から、一般高圧ガスが安定経営の一助になることがわかっていたから」

## 機械工具の比率が高い

――現在の業績はどうですか。

社長「リーマンショック後はずっと右肩上がりで、12年から過去最高の売上高を更新している。売上比率はガスと溶材で35%、機械工具類やプレス機、旋盤などで65%くらい」

――機械工具類の比率が多いのが特徴です。

会長「ある時期に路線変更したのが大きかった。当時、社員の声を聞いた結果、ある程度顧客を絞り込み、大きな工場や官公庁や病院などを顧客の主力にしようという話になった。当時は全体に景気が良く、危なくもない顧客を手放すことに抵抗もあったが、安定した商売をしたいという思いもあった。

この路線変更により、一般高圧ガスより機械工具類の比率が多くなった。ただ、今でもガスのベースがあるのは強みだ。ガス会社は毎日ユーザーの元へ通う。すると、ついでに工具一式を持ってきてほしいと言われる。話をする中で、自然と設備投資の話も出る。ガス会社の利点はこうした点が大きい」

社長「ガスがきっかけで機械工具類の販売につながることも多くある。ガスでまず口座を作り、のちの工具販売につながる流れだ。ガスの売上げは数千円だが、機械工具はその何十倍というユーザーもある」

――業績好調の要因をどう分析していますか。

会長「私が昔に獲得したユーザーが、いま伸びていることが一番大きい。私は伊賀の優良企業は全部獲得したいと思って頑張ってきた。今なら口座がもらえないような大企業とも、まだ規模が小さい時から付き合ってきた。それらの企業がいま軒並み好調で、それが当社の業績にも反映されている。この積み重ねと社員の頑張りがあって、いまの数字につながっていると思っている」

――以前から伊賀地域はまかせとておけと言っていました。

会長「当社の商圏は伊賀圏内と決めている。伊賀の圏外には出ないから、逆に圏外の事業者には、伊賀は当社にまかせてほしいと言っている」

社長「お客さんは全部、伊賀の中にあるので、物理的な距離が近い。だから20社ほどの顧客がある工業団地には、当社から4人の営業社員が別々に行っている。距離が近いので、効率を考えて一人に絞る必要がない。だから30人態勢でも十分に回せている」

――新社屋完成後の将来像をどう描いていますか。

会長「あと2～3人の従業員を増やし、社長が経営に専念してほしい。社長が担当ユーザーを持っていたら、社長業ができない。この先は伊賀も需要が減っていく。その中でもオンリーワン、ナンバーワンにならないと生き残れない。二番手では注目されない。そのためには社長が世間に出て、アンテナを立て、情報を仕入れて、時代に合った仕事をやっていく必要がある」

社長「私も同じ考えで、近々の目標は社長業に専念できる態勢にすること。今は会長が作った枠組みに乗っているだけだが、これからはプラスαを作り、どんどんステップアップしていきたい。そして伊賀では圧倒的な存在、ダントツの存在になり、伊賀はナックがあるからと他社を寄せ付けない存在になりたいと思っている」

## 3階建ての新社屋

新社屋は3階建てで、旧社屋から徒歩数分の距離にある。社屋横には溶接機材などを降ろす倉庫があり、トラックを停める部分には屋根があって雨の日の荷物の積み降ろしも問題なくできる。

社屋の1階は事務室と応接室、2階は会長室と食堂。3階はホールになっている。大勢が集って行う会議などは3階ホールが使われる予定だ。

新社屋周辺は農業振興地域のため、建築規制がある。その分、見晴らしが良く、上野城が見渡せる場所にある。

## ナック沿革

●1972（昭和47）年8月　中村溶材に社名変更、名張営業所を設置
●1977（昭和52）年11月　中村溶材機械工具を創業
●1986（昭和61）年10月　本社事務所に展示場開設、冷暖房機器の販売を開始
●1996（平成2）年9月　ナックに社名変更
●2000（平成12）年4月　本社会議室と商品倉庫を増築
2012（平成24）年3月　新社屋建設予定地横に高圧ガス容器置き場を新設
●2013（平成25）年11月　中村賢史社長就任、中村信通会長就任
●2016（平成28）年10月　優良販売業者として28年度高圧ガス保安経済産業大臣表彰を受賞
●2016（平成28）年11月　新社屋完成

10月28日にANAインターコンチネンタルホテル東京で行われた表彰式に臨んだ中村会長


伊賀の國からナックは、これからも
皆様に信頼をお届けします。

弊社は1972年創業以来、各種ガス・溶接機器・溶接材料・電動工具・産業機械・住宅設備機器などの販売、施工、メンテナンスを通じてお客さまの信頼を得ております。
また、「コンサルティング力を兼ね備えた商社」としてユーザーニーズに的確、迅速にユーザー様と共に新たな時代の工場の知能化をトータルサポートしてまいります。

伊賀上野城（白鳳城）

知りたい　ほしい　コミュニケーション
株式会社 ナック
本　　社　〒518-0032 三重県伊賀市朝屋字越中2052
TEL 0595(23)6523　FAX 0595(24)3841
名張営業所　〒518-0752 三重県名張市蔵持町原出446-9
TEL 0595(63)5237　FAX 0595(63)5246
ガス・溶材・機械工具の総合商社
www.iga-nac.co.jp/